トラックスケール・インジケータ

AD-4350A/B
AD-4351A/B

取 扱 説 明 書

1WMPD4000864C

ご注意

（１）　本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（２）　本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（３）　本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（４）　当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（３）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

目次

1 はじめに

1-1 概要

本機は、伝票用プリンタが外付けとなる、コンパクトサイズ設計のトラックスケールインジケータです。
画面表示にカラー液晶を使用し、見やすく長寿命で、対話形式により操作しやすくなっています。
プリンタには、以下の２種があります。
　ＡＤ－４３５０Ａ（カード式プリンタ）
　ＡＤ－４３５０Ｂ（発行式プリンタ）

本取扱説明書は、デジタルロードセル仕様のＡＤ－４３５１Ａ／Ｂと共通になっています。
本取扱説明書内における「ＡＤ－４３５０Ａ」「ＡＤ－４３５０Ｂ」の記述は、「ＡＤ－４３５１Ａ」「ＡＤ－４３５１Ｂ」にも適用されます。
ＡＤ－４３５１Ａ／Ｂ固有の仕様につきましては、別冊のＡＤ－４３５１Ａ／Ｂ取扱説明書をご覧ください。

1-2 使用上の注意

- 本機は精密電子機器ですので、取り扱いには充分注意してください。
- 本機及び伝票プリンタは、直射日光のあたらない場所に設置してください。
  特に、ＡＤ－４３５０Ａ（カード式プリンタ）は用紙の有／無を検出するフォトセンサーが誤動作する原因となります。
- 使用する電源は、誤動作を避けるため、安定した電源をご使用ください。
  不安定な電源（瞬停やノイズを含むもの）を使用すると、誤動作する恐れがあります。
- 外付けの伝票印字用プリンタは指定の専用プリンタを使用してください。プリンタの詳細仕様はプリンタ附属の取扱説明書を参照してください。
- 本機の「かな漢字変換」には（株）バックス社の漢字変換ツールが組み込まれております。

２ 本体仕様内容

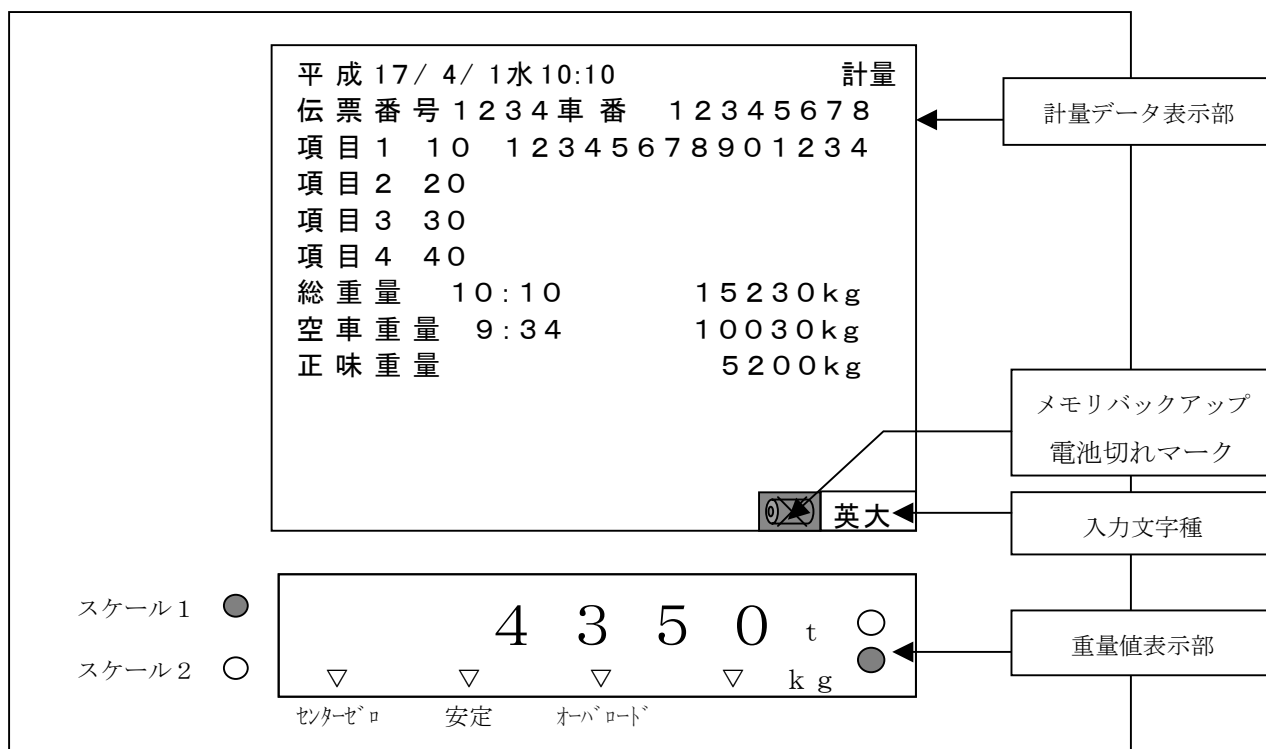
２-１ 基本仕様

<table>
<tr><th colspan="4">アナログ部</th></tr>
<tr><td>入力感度</td><td colspan="3">0.5μV/d min. (d＝最小目盛)</td></tr>
<tr><td>入力範囲</td><td colspan="3">0mV～37mV</td></tr>
<tr><td>ロードセル印加電圧</td><td colspan="3">DC5V±5% (短絡保護回路付)</td></tr>
<tr><td>ロードセルドライブ能力</td><td colspan="3">350Ωロードセル 最大８個 (120mA 最大)</td></tr>
<tr><td>温度係数</td><td colspan="3">ゼロ：±(0.1μV+0.0008% of ゼロ調整電圧)／℃(typ.)
スパン：±0.0008%／℃ of rdg (typ.)</td></tr>
<tr><td>非直線性</td><td colspan="3">0.005% of F.S.</td></tr>
<tr><td>入力ノイズ</td><td colspan="3">0.2μVp-p以下</td></tr>
<tr><td>入力インピーダンス</td><td colspan="3">10MΩ以上</td></tr>
<tr><td>A/D変換方式</td><td colspan="3">ΔΣ方式</td></tr>
<tr><td>内部分解能</td><td colspan="3">8､000､000d</td></tr>
<tr><td>最大表示分解能</td><td colspan="3">10､000d</td></tr>
<tr><td>A/D変換速度</td><td colspan="3">約12回／秒 (表示書換 10回／秒)</td></tr>
<tr><th colspan="4">メモリ</th></tr>
<tr><td>日計元帳件数</td><td colspan="2">10000台 (集計、伝票変更、再発行用データ)</td><td rowspan="4">内蔵フラッシュメモリ</td></tr>
<tr><td>車番登録件数</td><td colspan="2">4000台</td></tr>
<tr><td>項目名称登録件数</td><td colspan="2">4000件</td></tr>
<tr><td>補正登録件数</td><td colspan="2">1000件 (単価・水分・比重 各登録件数)</td></tr>
<tr><td>滞留車件数</td><td colspan="2">500台</td><td rowspan="2">ﾊﾞｯﾃﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ内蔵RAM</td></tr>
<tr><td>計量データ件数</td><td colspan="2">500台 (計量し伝票発行したデータ)</td></tr>
<tr><th colspan="4">印字部</th></tr>
<tr><td colspan="4">・伝票印字は外部専用プリンタを使用します。
・外部伝票プリンタ専用インターフェイスと本機附属の接続ケーブルで接続してください。
(1K02116-200)
・漢字 第一、第二水準対応です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">AD-4350A</td><td colspan="2">カード式プリンタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">AD-4350B</td><td colspan="2">発行式プリンタ</td></tr>
<tr><th colspan="4">一般仕様</th></tr>
<tr><td>電源電圧</td><td colspan="3">AC100V (50/60Hz)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">消費電力</td><td colspan="2">本機のみ</td><td>約40VA</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部伝票プリンタ接続時</td><td>カード式</td><td>約110VA</td></tr>
<tr><td>発行式</td><td>約100VA</td></tr>
<tr><td>ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾊﾞｯﾃﾘ寿命</td><td colspan="3">約10年 (リチウム電池使用)</td></tr>
<tr><td>使用温度</td><td colspan="3">-10℃～40℃</td></tr>
<tr><td>使用湿度</td><td colspan="3">85% R.H.以下 (結露なきこと)</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="3">本体 約5.3kg (フルオプションにて) A_Type 5.0kg B_Type 3.1kg</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td colspan="3">本体 280(W)×370(D)×218(H) mm
A_Type 252(W)×205(D)×185(H) mm
B_Type 175(W)×303(D)×196(H) mm</td></tr>
</table>

附属品
本体 ・AC 電源ケーブル（1 本)、設置アダプタ（1 個)、ヒューズ（1FSEAK-3.15A）1 個 ・外部伝票プリンタ用シリアルケーブル（1K02116-200）1 本 ・ロードセル用コネクタ（7P）1 個、カレント出力コネクタ（3P）1 個、入出力用コネクタ（8P）1 個 ・操作レバー（コントロール I/0、カレント出力コネクタ結線用）1 個 ・取扱説明書（1 部） ・本体とプリンタは別梱包となります。
カード式伝票プリンタ（ＡＤ－４３５０Ａ） ・AD-4350A　カード式プリンタ　取扱説明書　1 部 ・インクリボン（1ETERC-31B）1 個 ・AC アダプタ（1MPPS-180）1 個 （インクリボンはアクセサリーとして AX-ERC-31B-S　5 セット が用意されています。）
発行式伝票プリンタ（ＡＤ－４３５０Ｂ） ・AD-4350B　発行式プリンタ　取扱説明書　1 部 ・白紙連続用紙（AX-PP153）1 束、インクリボン（1ETRC300B）1 個 （インクリボンはアクセサリーとして AX-RC300P-S　5 本セットが用意されています。）

オプション	
ＡＤ－４３５０－０１	増設 AD ボード
ＡＤ－４３５０－０２	セントロニクス準拠パラレル出力（外部集計プリンタ接続）
ＡＤ－４３５０－０４	RS―422/485（周辺機器接続用）
ＡＤ－４３５０－０７	リレー出力
ＡＤ－４３５０－０９	カレントループ入力（外部インジケータからの重量値取り込み）

2-2 本体構成

2-2-1 フロントパネル

● 計量データ表示部

計量、メニュー、セットアップモード等の、各画面表示を行います。

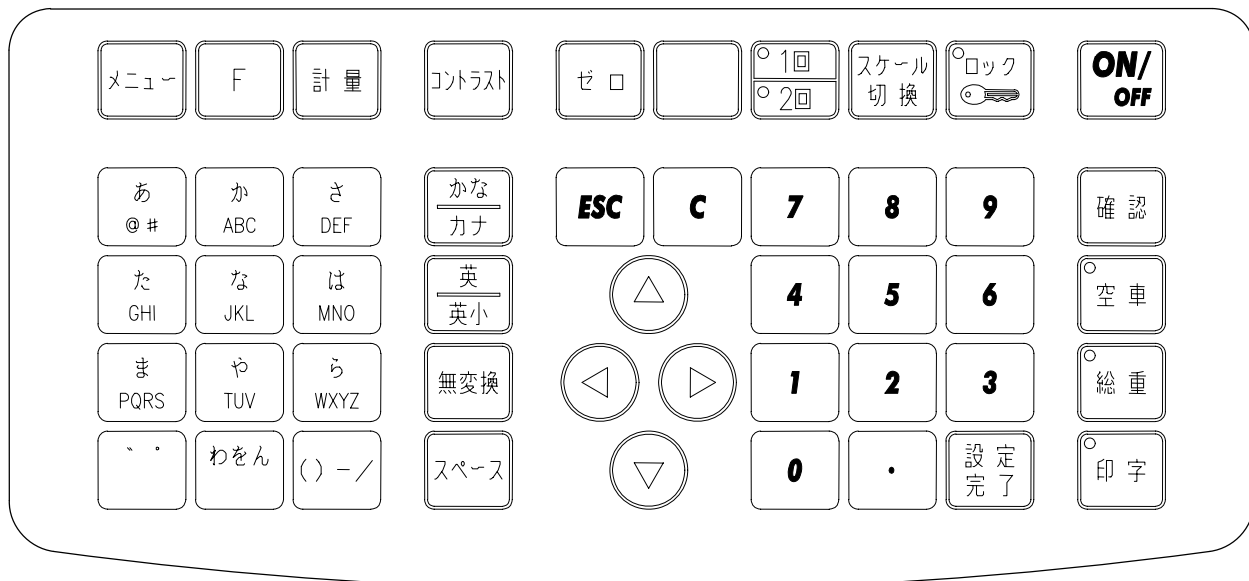
計量データ表示部	カラー液晶（115×86mm、320×240 ドット、RGB STN） バックライト（75,000 時間で半減） 温度補正回路内蔵により、温度に影響されることなく最適なコントラスト表示を行います。微調整は［コントラスト］キーと［△］［▽］キーで行います。 計量画面表示色（背景色、文字色）を内部設定モードで設定できます。
最下部行	コメント表示とバックアップ電池切れのバッテリアイコン表示、入力文字（カナ、英大、など）の表示を行います。
電池切れマーク	メモリバックアップ電池が無くなるとバッテリアイコンを表示します。 表示後 3 週間は動作しますので、この間に交換してください。 寿命は約 10 年です。

● 重量値表示部

重量値表示	7 セグメント蛍光表示管（文字高 13mm）で重量値を表示します。 オーバーロードではブランクとなります。	
状態表示	蛍光表示管内の▽マークを点灯させ、状態を表示します。	
	センターゼロ	重量値が真のゼロの時に点灯します。
	安定	重量値が安定すると点灯します。
	オーバーロード	最大秤量+8 目を超えた時に点灯します。この時に重量値表示はブランクです。
LED 表示	スケール 1/2	1 スケール仕様ではスケール 1 に固定です。 2 スケール仕様では選択されているスケールに対応した LED が点灯します。 表示 OFF の状態では、現在表示されたスケールの LED が点灯します。
	重量単位	設定された単位を表示します。

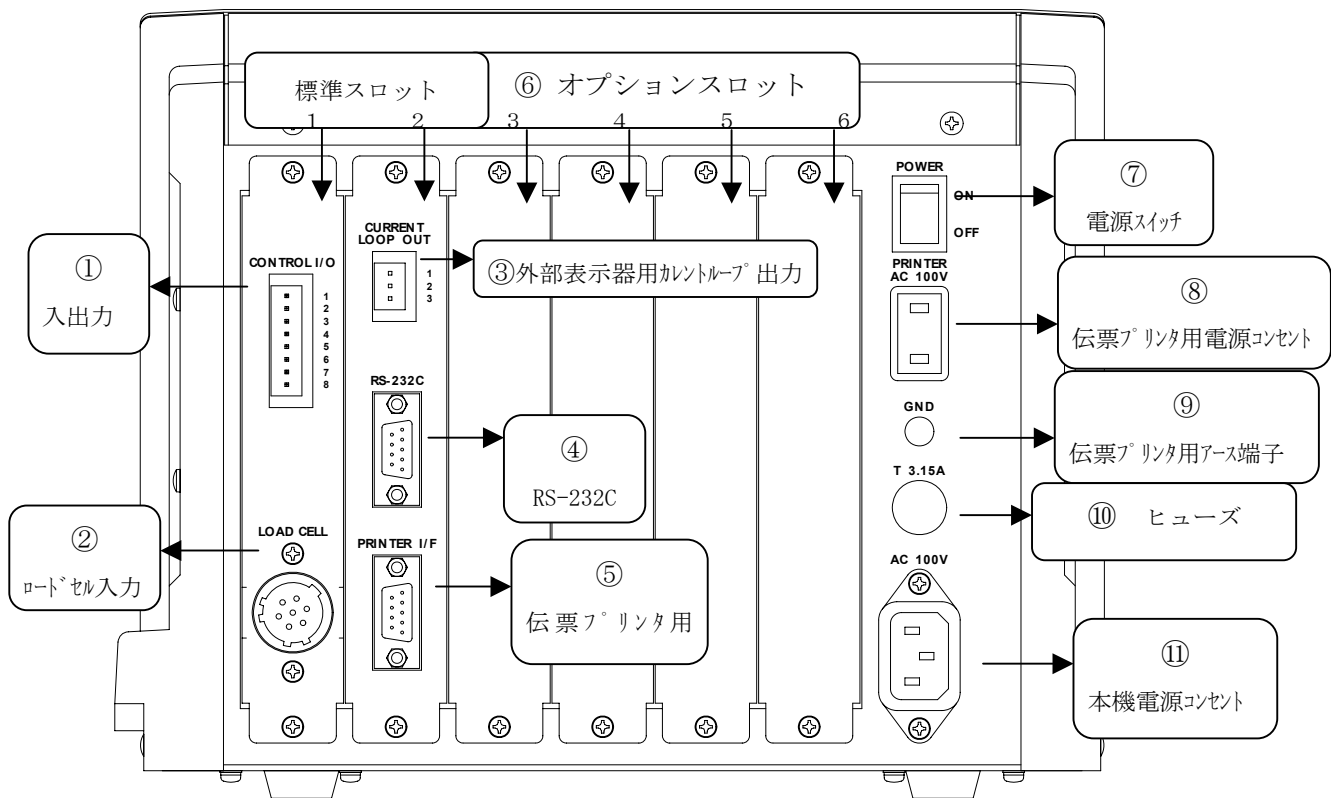
２スケール仕様では、選択されたスケールに対する、重量値、状態、ＬＥＤ表示となります。

2-2-2 キーシート部

本機のキー配列です。

メニュー	計量モードからメニューモードに入ります。［計量］キーで計量モードに戻ります。
F	かな漢字変換モードで選択時に使用します。
計量	・メニューモードから計量モードに戻る時（メニューのどこにおいても［計量］キーが押されると計量モードに戻ります)。 ・乗車待ちで［計量］キーを押すと車番の入力待ち（車両が乗車したのと同じ状態）となり計量動作が行えます（強制計量)。降車待ちの時に押すと車番の入力待ちとなり次の車両が計量できます。 ・車番入力後計量データを取り込むまでの計量途中で押すと、入力されたデータをクリアし車番の入力待ち状態になります。
コントラスト	・液晶表示のコントラストを調整します。［コントラスト］キーを押しながら［△］［▽］キーで調整します。
ゼロ	・重量値をゼロ補正します。校正のスケールテーブルで設定した範囲で有効です。この範囲を超えている時は入力を無視します。
1回／2回	・1回計量／2回計量の計量動作を切り換えます。 ・内部設定で電源立ち上げ時にどちらで立ち上げるかを設定することができます。 ・車両が乗車し車番を入力するまで有効です。
スケール切換	・2スケール設定 仕様の場合に有効で、スケール1と2のどちらで計量するかを切り換えます。 ・スケール切り換えは、車両が乗車したスケールに自動的に切り換わりますが、［スケール切換］キーにおいても切り換えることが可能です。切り換えは、車番を入力されるまでが有効です。
ロック	本機キーシート全てのキー入力をロックしたり、ロックの解除を行います。
ON/OFF	・液晶表示部、重量表示部の表示ON／OFFを行います。計量、メニューの各モードで有効です。
確認	・エラーとなるコメントが表示された場合に、その内容を確認した上で［確認］キーを押してください。 ［確認］が押されるとエラーのコメント表示はクリアされますので、その後の処理を行ってください。
空車	空車重量計量時の計量伝票印字時に使用します。
総重	総重量計量時の計量伝票印字時に使用します。

印字	1 回計量、2 回計量 2 回目の計量伝票発行時に使用する［印字］キーです。
10 キー	0～9 の数字を入力します。
設定完了	入力データを決定します。
ESC	メニューモードでは一つ前の画面に戻る時に使用します。
C	入力データをクリアします。
上下左右	コントラスト調整、画面カーソル位置の移動、設定値の選択等に使用します。
かな／カナ	ひらがな／カタカナ入力の切換キーです。画面にどちらが選択されているか表示しますので、この表示でどちらに切り換わっているのか判断してください。
英／英小	英文字の大文字／小文字を切り換えます。
無変換	入力した文字を漢字変換せずにそのまま読み込みます。
スペース	スペースを入力する時に使用します。
文字入力キー	ひらがな／カタカナ／英文字／記号の入力を行うキーです。［かな／カナ］［英／英小］キーで選択された文字が入力されます。［（）－/］キーは記号を入力するためのキーとなります。

2-2-3 ボード構成

標準スロット
⑥ オプションスロット
1 2 3 4 5 6
POWER
ON
OFF
⑦ 電源ｽｲｯﾁ
CURRENT LOOP OUT
1 2 3
③外部表示器用ｶﾚﾝﾄﾙｰﾌﾟ出力
CONTROL I/O
1 2 3 4 5 6 7 8
① 入出力
PRINTER AC 100V
⑧ 伝票ﾌﾟﾘﾝﾀ用電源ｺﾝｾﾝﾄ
RS-232C
GND
⑨ 伝票ﾌﾟﾘﾝﾀ用ｱｰｽ端子
④ RS-232C
T 3.15A
⑩ ヒューズ
LOAD CELL
② ﾛｰﾄﾞｾﾙ入力
PRINTER I/F
⑤ 伝票ﾌﾟﾘﾝﾀ用
AC 100V
⑪ 本機電源ｺﾝｾﾝﾄ

【リアパネル図】

①入出力	外部機器接続用入出力です。
②ロードセル入力	車両が乗車するスケールからの入力ケーブルを接続します。
③外部表示器用カレントループ出力	外部表示器接続用コネクタです。
④RS－232C インターフェイス	データの送受信用接続コネクタです。
⑤伝票プリンタ用インターフェイス	伝票プリンタ接続用コネクタです。
⑥オプションスロット	オプションを装着するスロットです。
⑦電源スイッチ	本機用の電源用スイッチです。
⑧伝票プリンタ用電源コンセント	伝票プリンタ用のコンセントです。
⑨伝票プリンタ用アース端子	伝票プリンタ電源ケーブルのアース端子接続用です。
⑩ヒューズ	本機用のヒューズです。
⑪本機電源コンセント	本機電源ケーブル用接続コネクタです。

３ 基本動作

３-１ 表示［ON/ＯＦＦ］

- 全ての表示（計量データ表示部、重量値表示部）をＯＦＦにします。
- 表示ＯＦＦでは、重量表示部左の「スケール１」または「スケール２」のＬＥＤのみ点灯します。
  選択されているスケールのＬＥＤのみ点灯し、表示ＯＦＦであることを示します。
- 表示ＯＦＦの状態で［ON/ＯＦＦ］キーを押すと、表示をＯＮします。

３-２ キーロック［ロック］

- 計量モードでのみ有効となります。
- ロックされている時に［ロック］キーのＬＥＤランプが点灯します。
- ロック状態で、再度［ロック］キーを押すとロックを解除します。
  解除する時にパスワード入力を付加することができます。詳細は、「１４－２　機能設定」を参照してください。
- ロック状態では、［ON/ＯＦＦ］キーのみ有効で、それ以外のキー入力は無効となります。

３-３ コントラスト調整

本機液晶表示部に使用する液晶は、温度補正回路を内蔵しており、室温に合わせ最適なコントラストを保ち表示させるようになっています。さらに、手動でのコントラスト調整機能も兼ね備えています。
［コントラスト］キーを押しながら［△］［▽］キーでコントラストを調整することができます。
調整したコントラストはバッテリバックアップしていますので、電源を切っても保持しています。

３-４ 計量データ登録

計量毎に発行する計量伝票印字内容は「計量データ」としてバッテリバックアップ内蔵ＲＡMに最大５００件保存します。
また「日計元帳」として内蔵フラッシュメモリに最大１０、０００件を保存します。過去の「計量データ」は、この「日計元帳」に登録していきます。

集計、伝票追加・変更・再発行を行う際には、「日計元帳」を使用するため、「計量データ」を「日計元帳」へ書き込む必要があります。この書き込みは、以下の条件の時に、「計量データ」が存在すると自動で行われます。

①「１　伝票」の「伝票変更」「伝票追加発行」「伝票再発行」に入った時
②「３　集計」の「集計閲覧」「集計印字」「元帳印字」「元帳削除」に入った時
③　表示ＯＦＦから表示ＯＮにした時
④　本機電源を立ち上げた時
（書き込み中は、［日計元帳登録中・・・］のメッセージを表示します）

上記操作を行わず「計量データ」が４５０件を超えた時には、登録（書き込み）を促すメッセージを表示しますので、［メニュー］の「１　伝票」の「１　計量データ登録」を行ってください。
また、日計元帳の残り件数が少ない場合には、「日計元帳を削除し、再登録をしてください」のコメント表示となりますので、日計元帳を必要件数分削除し、計量データの登録を行ってください。

3-5 最大積載量オーバー

最大積載量のチェックは「車番登録」にて“最大積載量”が登録されている場合に機能します。

１回計量、２回計量２回目において、正味重量が求められると、入力した車番にて車番登録に最大積載重量が登録されていると、この最大積載量と正味重量を比較し超えていた場合に最大積載量エラーとし

- 最大積載量エラー出力（ＡＤボード、リレー・オプションボードの出力より）をＯＮにします。
- 最大積載量エラーであるコメント表示をし［確認］キーを押すことを促します。

以降の、計量を継続するか、中断するかは、操作者の判断に委ねます。

- 計量を続行する場合には［確認］キーを押した後、通常の操作を続けます。
- 計量を止める場合には［確認］キーを押した後、［計量］キーを押し、降車を促し次の車両の計量に備えてください。

3-6 各データオーバー

３－６－１ 滞留車オーバー

滞留車件数は５００件です。

４５０件になると警告として「滞留車メモリが、残り少ないです[確認] 」のコメントを表示します。

計量動作は引き続き行えますが、不要な滞留車データは削除してください。

５００件になると「滞留車オーバー、登録出来ません[確認]」とコメント表示し、滞留車を作成することができません。不要な滞留車を削除してから再度計量を行ってください。

３－６－２ 計量データオーバー

計量データは５００件です。バッテリバックアップメモリ（ＲＡＭ）に保存されます。

４５０件になると警告として「計量データを登録してください[確認] 」のコメントを表示します。

メニューの「１ 伝票」の「１ 計量データ登録」を行ってください。

５００件になっても同じコメント表示で登録を促します。登録しなくとも計量伝票の発行はできますが、この場合には計量データを保存しません。

また、計量データを登録する際に、日計元帳の残り件数より計量データの件数が多い時には、計量データの登録が行えません。この場合には、不要となる日計元帳を削除し、必要件数を確保してから、計量データの登録を行ってください。

３－６－３ 日計元帳

日計元帳は１０，０００件です。内蔵フラッシュメモリに保存されます

９０００件を超えると「日計元帳の残りが少なくなりました」のコメントを表示します。

不要になった日計元帳の削除を行ってください。

各データ件数は、メニュー「保守」の「４ メモリ件数」でも確認できます。その都度、残り件数を確認してください。

３-７　メモリバックアップ電池切れ表示

本機のメモリをバックアップするバッテリが切れた時に液晶表示部最下部右隅に マークを表示します。

このマークが表示されてから約３週間はバックアップを行いますので、この間にバッテリの交換を行ってください。

交換は本体ケースを開ける必要がありますので、ご購入先、もしくは弊社最寄の営業所にご連絡ください。

バックアップバッテリの寿命は約１０年です。

4　計量モード

本機の計量動作内容です。

１回計量	総重量でのみ計量し、計量伝票を発行する計量動作です。 空車重量は車番登録しておくか、キー入力します。
２回計量	総重量、空車重量をそれぞれ計量し計量伝票を発行する計量動作です。
単純計量	車番を入力せずに総重量、空車重量、正味重量を印字する計量動作で、計量データはメモリされません。 「メニュー」の保守モードにて　単純計量が（有効）に設定されている時に、この動作となります。
［空車］［総重］の印字	「メニュー」の保守モードにて単純計量が（無効）の時にこの動作となります。

4-1　１回計量

空車重量が予め分っている時に、実車のみを計量する方法です。

空車重量は、車番登録で登録しておくか、キーから入力します。

総重量の頭に“Ｇ”(Gross)、空車重量の頭に“ＰＴ”(Preset Tare)、正味重量の頭に“Ｎ”(Net)と印字します。

4-2　２回計量

空車、実車をそれぞれ計量する方法です。

１回目の計量値は滞留車データとしてメモリされます。

総重量の頭に“Ｇ”(Gross)、空車重量の頭に“Ｔ”(Tare)、正味重量の頭に“Ｃ”(Calculation)と印字します。

4-3［1回/2回］計量切換キー

4-3-1 切換

車両がスケールに乗車し「車番」を入力するまでの間に［１回/２回］キー入力は有効です。

車番入力後は計量が完了し「降車待ち」となるまで、このキー入力は無効となります。

4-3-2［１回/２回］キーを１回にした場合・１回計量動作

予め空車重量が車番登録されているか、キー入力することで計量する１回計量動作のみを行います。

車番を入力すると、車番登録されたデータを呼び出し表示します。また、車番入力時の安定重量を取り込みます。登録が無い時には空車重量の入力を行います。未入力項目を入力します。

計量に必要なデータが全て入力されたら［印字］キーで計量伝票を発行します。

4-3-3　［１回/２回］キーを２回にした場合・２回計量動作

総重量、空車重量を計量する２回計量動作となります。

空車重量が車番登録された車両では自動的に１回計量の動作となります。

車番登録されおり、空車重量が０で登録されている時には２回計量として動作します。

4-4 単純計量

「メニュー」の「保守」の「機能設定」の中で、単純計量の「使用／未使用」を設定します。

「未使用」では、次項「4－5　［空車］［総重］キーの印字」で示す、空車、総重量のそれぞれの印字欄に、計量時間と重量値を印字する動作となります。

「使用」する設定では、次に示すように、車番を入力せずに総重量、空車重量、正味重量を印字する計量動作となります。計量データは保存されません。

● 1回目を計量する場合

① 車両が乗車すると「車番入力待ち」になりますので、伝票をセットします。
② 乗車した車両に合わせ［空車］または［総重］キーを押します。
③ ［空車］キーでは、空車の表示覧に、［総重］キーでは、総重量の表示覧に安定した重量値を読み込みます。
④ 重量を取り込んだ後は、［空車］キーでは総重量表示部に、［総重］キーでは空車重量表示部の計量時間にカーソルが移動します。
⑤ ここでは1回目なので［設定完了］キーを押します。
⑥ 重量表示部にカーソルが移動しますので、ここでも［設定完了］キーを押します。
⑦ 次に［印字］キーランプが点灯しますので、［印字］キーを押すと、それぞれの覧に「時間」と「重量値」を印字します。
⑧ 印字後、「降車待ち」となります。

● 2回目を計量する場合

① 車両が乗車すると「車番入力待ち」になりますので、伝票をセットします。
② 乗車した車両に合わせ［空車］または［総重］キーを押します。
③ ［空車］キーでは、空車の表示覧に、［総重］キーでは、総重量の表示覧に安定した重量値を読み込みます。
④ 重量を取り込んだ後は、［空車］キーでは総重量表示部に、［総重］キーでは空車重量表示部の計量時間にカーソルが移動します。
（ここまでは、1回目の計量と同じ手順になります）
⑤ 1回目に印字した計量時間と重量値を、入力します。
⑥ 1回目の重量値が入力されると正味重量が求められます。
⑦ ［印字］キーのランプが点灯したら、伝票をセットし［印字］キーを押します。
⑧ 日付、今回の計量時間と重量値、正味重量を印字し、「降車待ち」となります。

以上で、車番を入力せずに、総重量、空車重量、正味重量を印字します。

4-5［空車］［総重］キーの印字

単純計量が「未使用」の時の動作となります。

車両が乗車し「車番入力待ち」の時に、［空車］［総重］キーで、計量伝票の各覧に計量時間、重量値を印字し「降車待ち」となります。

［空車］キーでは、空車重量印字覧に、「時間」と「重量値」を印字します。

［総重］キーでは、「日付」と総重量印字覧に、「時間」と「重量値」を印字します。

4-6 ２スケール仕様

4-6-1 計量動作

- 予め、重量値取り込みが２チャンネルの入力設定の時に、２スケール仕様として動作します。
- 電源を立ち上げた時には“スケール１”で立ち上がります。スケール切換は自動で行います。
- 車両が乗車した方のスケールを選択しそのスケールを計量します。計量中に他方のスケールに乗車した場合には選択されたスケールの計量が終わってから他方のスケールに切り換わります。
- ２スケールで使用する時の重量単位は、スケール１/２共通となります。別々の設定の場合にはスケール１の重量単位が選択されます。

4-6-2 「スケール切換」キー

- ［スケール切換］キーではスケールを切り換えます。
- ［スケール切換］キーを押す毎に、現在選択されているスケールから他方のスケールに切り換えることができます。
- 選択されているスケールが計量中（車番が入力されてから“降車待ち”になるまでの間）の時には無効です。

４-７ 車番入力方法

車番入力は英・カナ・数字で、８文字入力となっています。

● 数値入力

１０キーにて０～９を入力します。０～９のキーを押す毎に数値が入力されます。

● 文字入力

この文字キーでカナ、アルファベット、記号を入力することができます。ひらがな、漢字入力はできません。
［かな／カナ］［英／英小］キーで入力する文字を選択し、文字キーで入力します。文字入力したら［▷］キーで確定し、次の桁の入力に移行します。
間違った文字をクリアする時は［Ｃ］キーを押すことで１文字づつクリアします。

● 車番の決定

［設定完了］キーを押すことで入力した車番が確定します。

● 車番一覧表示

車番は“文字”入力となりますので、車番の順に表示、印字する時には、文字の順の並びとなります。

例）

車番順に表示させた時の表示例です。

5 メニューモード

［メニュー］キーを押すと、「計量モード」から「メニューモード」に切り換わり、各データの編集・集計・登録及び保守を行うことができます。

【メニューモード 画面】

（日付：時間）	メニュー
1　伝票	
2　滞留車	
3　集計	
4　車番登録	
5　項目名称登録	
6　水分登録	
7　比重登録	
8　単価登録	
9　保守	
▽△キーか数字入力で選択して下さい	

- ［▽］［△］キーでカーソルを移動し［設定完了］キーで選択したモードに入ります。
  もしくは、番号を入力することでも選択できます。
  ［３　集計］以降の車番登録、項目名称登録、水分、比重、単価登録一覧印字の印字先は、集計印字を行うプリンタとなります。
- 「水分、比重、単価」登録は、未使用の設定の時には表示されません。

６　伝票（編集）

伝票発行したデータを編集するモードです。

【伝票 画面】

（日付：時間）	メニュー～伝票	
１　計量データ登録		← 計量データを日計元帳へ登録します。
２　伝票変更		← 日計元帳の伝票内容の変更を行います。
３　伝票追加発行		← 必要なデータを入力し伝票発行、追加を行います。
４　伝票再発行		← 一度発行した伝票の再発行を行います。
５　伝票削除		← 日計元帳から選択した伝票を削除します。
▽△キーか数字入力で選択して下さい		［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

６-１ 計量データ登録

伝票発行毎に保存された「計量データ」を「日計元帳」に登録します。

計量毎の伝票発行したデータは「計量データ」として内蔵のバッテリバックアップメモリ（最大５００件）に保存されます。

これに対し、集計、伝票追加・変更・再発行で使用する伝票データは「日計元帳」として、内蔵のフラッシュメモリ（最大１０、０００件）に保存されます。

集計、伝票追加・変更・再発行を行う際には、「日計元帳」を使用するため、「計量データ」を「日計元帳」へ書き込む必要があります。この書き込みは、以下の条件の時に、「計量データ」が存在すると自動で行われます。

①「１　伝票」の「伝票変更」「伝票追加発行」「伝票再発行」に入った時
②「３　集計」の「集計閲覧」「集計印字」「元帳印字」「元帳削除」に入った時
③ 表示ＯＦＦから表示ＯＮにした時
④ 本機電源を立ち上げた時
⑤ ＲＳ－２３２Ｃ　モード４で日計元帳送信要求コマンドを受信した時
（書き込み中は、［日計元帳登録中・・・］のメッセージを表示します）

上記操作を行わず「計量データ」が４５０件を超えた時には、登録（書き込み）を促すメッセージを表示しますので、［メニュー］の「１　伝票」の「１　計量データ登録」を行ってください。

【計量データ登録 画面】

（日付：時間）	計量データ登録	
計量データ数	１２３／５００	← 登録件数を表示します。
計量データを日計元帳に登録します		
	はい／ いいえ	←「はい」で登録します。「いいえ」では前の画面に戻ります。
登録してよろしいですか？		［ESC］キーで一つ前の「伝票画面」に戻ります。

6-2 伝票変更

「日計元帳」の伝票内容を変更することができます。
変更する伝票の日付を入力し伝票番号を選択します。
選択すると、計量画面でそのデータを表示し、変更可能となります。

【伝票変更選択 画面】

① 日付で検索する時に日付を入力します。
日付を入力すると指定した日付の伝票番号を表示しますので、変更する伝票番号をカーソル選択します。
左右キーで日付表示部のカーソルが移動します。

② 表示している日付で計量した伝票番号を一覧表示します。
変更する伝票番号にカーソルを移動し［設定完了］キーを押します。
［△］［▽］キーでカーソルが移動します。

変更する伝票番号を選択すると、計量画面で表示しデータの変更ができます。
ただし、以下の項目は変更不可です。
・総重量／時／分　・空車重量／時／分　・年月日、伝票番号
［ESC］キーで一つ前の「伝票画面」に戻ります。

日付、伝票番号を変更し「日計元帳」に登録する際、同じ日付に同じ伝票番号が無いか重複チェックし、同じものがあるとエラーメッセージを表示します。エラーメッセージを確認の上、［確認］キーを押し再入力してください。

※「伝票変更選択」画面で［F］キーを押すと、選択した伝票のチェックサムを表示します。

6-3 伝票追加発行

「伝票追加発行」では、計量画面を表示し、全てのデータをキー入力し、伝票印字、入力データの保存（日計元帳に登録）を行います。

【伝票追加発行 画面】

(日付：時間)　　伝票追加発行
伝票番号　　車番
項目１
項目２
項目３
項目４
総重量　　：
空車重量　　：
正味重量

伝票番号にカーソル表示し、必要なデータを入力し、計量伝票の発行、日計元帳に登録することができます。
入力したデータの修正は、［△］［▽］キーでカーソルが移動しますので、修正個所に移動させ再入力してください。

［ESC］キーで一つ前の「伝票画面」に戻ります。

「日計元帳」に登録する際、同じ日付に同じ伝票番号が無いか重複チェックし、同じものがあるとエラーメッセージを表示します。エラーメッセージを確認の上、［確認］キーを押し再入力してください。

※「伝票追加発行」画面で伝票印字を行うと、最下行に「法定計量外」と印字します。

６-４ 伝票再発行

日付と伝票番号で再発行する伝票を選択し、伝票再発行を行います。

【伝票再発行 画面】

① 日付で検索する時に日付を入力します。
日付を入力すると指定した日付の伝票番号を表示しますので、再発行する伝票番号をカーソル選択します。
左右キーで日付表示部のカーソルが移動します。
② 表示している伝票番号の一覧表示を行います。
カーソル選択で変更する伝票番号を選択します。
［△］［▽］キーでカーソルが移動します。

再発行する伝票番号を選択すると、計量画面でデータ内容を表示しますので、データ内容を確認の上再発行を行います。

[ESC］キーで一つ前の「伝票画面」に戻ります。

６-５ 伝票削除

日付と伝票番号で、削除する伝票を選択し、「日計元帳」より削除します。

【伝票削除 画面】

← 現在の日計元帳件数を表示します。

← 削除方法を選択します。
１．選択削除：日付の範囲を選択し削除します。
２．一括削除：元帳データを全て削除します。

【伝票選択削除 画面】

① 日付で検索する時に日付を入力します。
左右キーで日付表示部のカーソルが移動します。

② 表示している日付の日計元帳の伝票番号の一覧表示を行います。カーソル選択で変更する伝票番号を選択します。
③ 選択した削除範囲を表示します。

削除する範囲を指定すると、「削除してよろしいですか」のコメントを表示します。「はい」を選択し［設定完了］キーで指定範囲を削除します。
「いいえ」では、入力した範囲をクリアし範囲選択に戻ります。
[ESC］キーで一つ前の「伝票画面」に戻ります。

【一括削除 画面】

（日付：時間）　伝票～削除
登録数　１２３４／１００００

伝票データを一括削除します

はい/いいえ

削除してよろしいですか？

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で伝票データ（日計元帳）を全て削除します。
「いいえ」では、「伝票画面」に戻ります。

7　滞留車（編集）

滞留車データを編集するモードです。

【滞留車 画面】

（日付：時間）　メニュー～滞留車

1　滞留車変更
2　滞留車発行
3　滞留車削除

▽△キーか数字入力で選択して下さい

← 滞留車データの変更を行います。
← 滞留車の伝票発行を行います。
← 滞留車データを削除します。

［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

7-1　滞留車変更

滞留車データを変更します。データの変更（入力）と登録を行わず、滞留車の閲覧のみを行うこともできます。閲覧する場合にはデータの入力（変更）、登録は行わないでください。

【選択　画面】

①　滞留車の車番を一覧表示します。
　［△］［▽］キーでカーソルが移動し変更する車番を選択します。

②　車番をキー入力すると“検索”表示部に入力され、車番を検索し一覧表示します。

変更する車番にカーソルを合わせ［設定完了］キーで選択すると、計量画面でデータ内容を表示し、データの変更ができます。

［ESC］キーで一つ前の「滞留車画面」に戻ります。

7-2 滞留車発行

滞留車となっているデータを車番で呼び出し、２回目のデータをキー入力し伝票発行と「日計元帳」に登録します。

変更する滞留車を車番で検索し、選択すると、計量画面となり、データ入力が可能となります。

発行した時の伝票番号は、現在の計量での伝票番号の続きを印字します。

【選択　画面】

①　滞留車の車番を一覧表示します。
［△］［▽］キーでカーソルが移動します。
カーソル選択で車番を選択します。

②　車番をキー入力すると“検索”表示部に入力され、車番を検索し一覧表示します。

発行する車番にカーソルを合わせ［設定完了］キーで選択すると、計量画面でデータ内容を表示し、データの入力ができます。

［ESC］キーで一つ前の「滞留車画面」に戻ります。

※「滞留車発行」画面で伝票印字を行うと、最下行に「法定計量外」と印字します。

7-3 滞留車削除

不要な滞留車を車番で選択し、削除します。

削除は「一括削除」と「選択削除」があります。一括削除では、全ての滞留車データを削除します。

選択削除は、車番の一覧表示から削除する範囲を選択し、削除します。

【滞留車削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除方法を選択します。
　１．選択削除：車番の範囲を選択し削除します。
　２．一括削除：滞留車データを全て削除します。

【選択削除 画面】

① 滞留車の車番の一覧表示を行います。

② 選択した車番の範囲を表示します。

上下キーで削除範囲を選択するか、車番をキー入力し、削除する車番を指定します。

[ESC] キーで前の画面に戻ります。

【一括削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で全ての滞留車データを削除します。
　「いいえ」では、前の「滞留車削除画面」に戻ります。

8 集計

日計元帳データを元に、集計を行うモードです。
集計印字するプリンタは、内部設定で予め設定された、「伝票プリンタ」もしくは「集計プリンタ」で行います。

【集計 画面】

```
（日付：時間）                    メニュー～集計

      1  集計閲覧     ← 1項目別集計を表示します。
      2  集計印字     ← 集計印字を行います。
      3  元帳印字     ← 日計元帳の印字を行います。
      4  元帳削除     ← 日計元帳データの削除を行います。

  ▽△キーか数字入力で選択して下さい
```

［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

8-1 集計閲覧

選択した項目のみの、集計表示を行います。指定（入力）した日付範囲のデータを集計し一覧表示します。

【閲覧項目選択 画面】

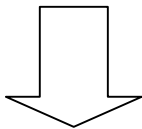
```
（日付：時間）                    集計～閲覧

  0  「車番」別      ← 車番別集計の一覧表示を行います。
  1  「項目１」別    ←「項目１」別集計の一覧表示を行います。
  2  「項目２」別    ←「項目２」別集計の一覧表示を行います。
  3  「項目３」別    ←「項目３」別集計の一覧表示を行います。
  4  「項目４」別    ←「項目４」別集計の一覧表示を行います。

  ▽△キーか数字入力で選択して下さい
```

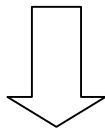
項目の選択は、番号を入力するか、カーソルを移動し［設定完了］キーを押します。

「項目１」「項目２」「項目３」「項目４」は、内部設定で設定した表示になります。（例：「項目 1」→「銘柄」 など）

［ESC］キーで一つ前の「集計画面」に戻ります。

閲覧する項目を選択すると、日付入力画面に移行します。

【日付入力　画面】

← 閲覧する日付を範囲入力します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

日付を入力すると、選択した項目の集計結果を一覧表示します。

●　車番別閲覧画面

【集計閲覧　画面】

← 閲覧する項目と日付範囲を表示します。

← 車番閲覧では、車番を表示します。

← その集計回数と重量を表示します。２行で１件を表示します。

［△］［▽］キーで一覧表示をスクロールします。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

← 車番を入力すると検索し、表示を移動します。

●　項目別閲覧画面

【集計閲覧　画面】

← 閲覧する項目と日付範囲を表示します。

← 項目別閲覧の場合は、項目コードと名称を表示します。

← その集計回数と重量を表示します。２行で１件を表示します。

［△］［▽］キーで一覧表示をスクロールします。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

← コード番号を入力すると検索し、表示を移動します。

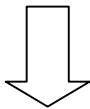
8-2 集計印字

指定した日付の範囲で最大４項目の掛け合わせ集計印字を行います。

印字するプリンタは内部設定で指定（伝票プリンタ/外部集計プリンタ）します。

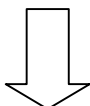
【掛け合わせ選択　画面】

①　集計する“掛け合わせ”項目を設定します。
集計項目を０～４の数字入力で設定します。
数字入力すると左の「掛け合わせ」部に表示されます。
掛け合わせ項目を選択中に［△］キーを押すと一つ前の項目に戻ります。

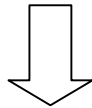
［設定完了］キーで設定した掛け合わせ内容を決定します。

掛け合わせ項目を入力後、［設定完了］キーで、集計する日付入力に切り換わります。

【日付入力　画面】

②　集計する日付を範囲入力します。
最初に表示する日付は、日計元帳全データの日付範囲を表示します。

範囲の最後の日で［設定完了］キーを押すことで、集計を取る日付範囲が決定します。

集計する日付範囲を入力後、［設定完了］キーで、掛け合わせ先頭項目の範囲入力に切り換わります。

【日付入力　画面】

掛け合わせ項目の先頭項目（この図の場合、車番）のみ集計する範囲を指定することができます。
範囲指定は不要で、全ての範囲を集計印字させる時には「いいえ」を選択します。「集計印字しますか」のコメント表示となりますので、印字する時は「はい」を、印字しない時は「いいえ」を選択します。「いいえ」では集計画面に戻ります。
範囲指定する時には「はい」を選択します。
この図の場合、車番が先頭項目となりますので、車番の範囲を指定します。

「はい」で先頭項目の集計範囲を指定する場合

【集計範囲指定　画面】

掛け合わせ項目の先頭項目のみの集計する範囲を指定する画面です。（この図は、車番が先頭項目の場合です）
ここでは車番が指定範囲となりますので、日計元帳の車番の一覧表示から、集計する範囲を指定します。

上下キーで選択するか、車番、項目コード番号をキー入力し、範囲を入力します。

範囲指定後、入力した集計範囲でよいか問い掛けますので、よければ「はい」修正が必要であれば「いいえ」を選択します。
「いいえ」では「掛け合わせ選択画面」に戻ります。

「はい」で集計印字させた時

【集計印字　画面】

集計印字中に［設定完了］キーを押すと、集計印字を中止することができます。但し、プリンタバッファに送られたデータは印字されます。

（ここでの集計印字中の画面は、先頭項目を選択した時の画面となります。）

８-３ 日計元帳データ印字

日計元帳データを印字します。

【元帳データ印字 画面】

← 印字する日付を範囲入力します。
最初は、日計元帳全てのデータの日付範囲を表示します。

日付範囲入力後、「元帳印字を行いますか？」はい/いいえを聞いてきます。「はい」で日計元帳の印字を開始します。「いいえ」で集計画面に戻ります。

[ESC］キーで一つ前の「集計画面」に戻ります。

【印字中止 画面】

［設定完了］キーで、印字を中止します。

［設定完了］キーで中止した時には、「印字を中止しました」を表示しますので、［確認］キーを押してください。「集計画面」に戻ります。

８-４　日計元帳データ削除

日計元帳データを削除します。

【元帳削除　画面】

```
（日付：時間）                集計～元帳削除
        登録数        ４２１／１００００

    １．選択削除
    ２．一括削除

 ▽△キーか数字入力で選択して下さい
```

← 現在の日計元帳件数を表示します。

← 削除方法を選択します。
　１．選択削除：日付の範囲を選択し削除します。
　２．一括削除：元帳データを全て削除します。

【選択削除　画面】

```
（日付：時間）                集計～元帳削除

        ２００５年　３月　１日
          から
        ２００５年　３月３１日
          まで
                    はい／いいえ
 元帳削除を行いますか？
```

← 印字する日付を範囲入力します。
　最初は全ての日計元帳の日付範囲を表示します。

←「はい」を選択し［設定完了］キーで入力した日付の元帳データを削除します。
「いいえ」で前の画面に戻ります。

【一括削除　画面】

```
（日付：時間）                集計～元帳削除
        登録数        １００／１００００

  元帳データを一括印字します
                    はい／いいえ
 削除してよろしいですか？
```

← 現在の日計元帳件数を表示します。

←「はい」で全ての日計元帳を削除します。
「いいえ」で「集計画面」に戻ります。

削除後、計量での「伝票番号」を設定する画面を表示します。
ここでは現在の伝票番号表示します。そのままでよければ［設定完了］キーを、変更する場合にはキー入力し［設定完了］キーを押してください。「集計画面」に戻ります。

9　車番登録

車番による項目、空車重量、最大積載量を設定します。

【車番　画面】

（日付：時間）　　　　　　　　　　メニュー～車番

1　車番閲覧　←　車番登録された車番の一覧表示を行います。
2　車番登録　←　車番による各データの登録を行います。
3　車番印字　←　車番登録されたデータの一覧印字を行います。
4　車番削除　←　登録の削除を行います。

▽△キーか数字入力で選択して下さい

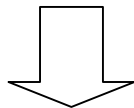
［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

9-1　車番閲覧

車番登録した「車番」の一覧表示を行い、選択した車番の登録データを表示し、登録データ内容を確認することができます。

【車番登録閲覧 画面】

①　車番登録された車番の一覧表示を行います。
［△］［▽］キーでカーソル選択します。

②　検索する車番を入力すると、検索表示部に入力した車番を表示し、検索した車番からの一覧表示となります。
［C］キーにて、検索するために入力した車番を全てクリアすると登録データの先頭に戻ります。

カーソル選択し［設定完了］キーで選択した車番の登録データを表示する画面になります。

【車番登録データ表示 画面】

（日付：時間）　　　　　　　　　　車番～閲覧

登録数　　　　１００／４０００　←　現在の登録件数を表示します。

車番　：　←　選択した車番データを表示します。
項目１：
項目２：
項目３：
項目４：
空車重量：　　　　ｋｇ
最大積載量：　　　ｋｇ

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

９-２ 車番登録

「車番」で必要項目、空車重量、最大積載量を登録します。

【車番登録 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 車番登録するデータを入力します。

← 空車重量を入力します。０の時は２回計量用登録となります。
← 最大積載量量を登録します。不要の場合には０のままとしてください。
←「はい」で入力した車番で登録します。

［ESC］キーで一つ前の「車番画面」に戻ります。

２回計量用登録　空車重量を“０”で登録した時には、２回計量用登録データ（各項目、最大積載の登録）となります。
計量で、入力された車番で車番登録データがある場合には、そのデータを読み込みます。
ここで空車重量＝０で登録されていた時には２回計量の動作になります。空車重量が登録されている時は１回計量となります。

最大積載量　最大積載量の確認が必要な時に設定します。
ここで設定した重量値と計量での“正味重量”を比較します。
“０”設定の時は機能しません。
空車重量＝０で登録されている場合には、２回計量での最大積載量の確認を行います。

９-３ 車番印字

登録した車番登録データを一覧印字します。
印字先のプリンタは、「内部設定」の「集計プリンタ」で、「外部伝票プリンタ/外部集計プリンタ」のどちらかになります。

【車番登録印字選択 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字方法を選択します。

[ESC] キーで一つ前の「車番画面」に戻ります。

選択した印字画面に移行します。

９-３-１ 選択印字

【選択印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字する範囲を選択します。
「カーソル選択」か「車番を直接入力」し、印字範囲を指定します。
「カーソル選択」では、[△] [▽] キーで、印字する先頭の車番にカーソルを移動し [設定完了] キーを押し、さらに印字する最後の車番までカーソルを移動し [設定完了] キーで印字範囲を選択します。

←「はい」で入力した範囲の車番登録データを印字します。
「いいえ」では指定した範囲をクリアし、範囲選択に戻ります。

９-３-２ 一括印字

【一括印字 画面】

←現在の登録件数を表示します。

←「はい」で全ての車番登録データを印字します。
「いいえ」で「車番画面」に戻ります。

９-４ 車番削除

登録されているデータを車番の一覧表示から削除します。

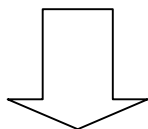
削除方法は、一括削除（全ての車番登録データを削除）と選択削除（指定された範囲を削除）があります。

【車番登録削除方法選択 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除方法を選択します。

「一括削除」を選択した場合には、ここで「はい／いいえ」を選択し、削除します。「いいえ」では「はい／いいえ」選択表示を消し元の画面表示に戻ります。

［ESC］キーで一つ前の「車番画面」に戻ります。

選択削除を選択した時、選択削除画面に移行します。

９-４-１ 選択削除

車番登録されている車番の一覧表示から削除する車番を選択し削除します。

【車番登録選択削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除する範囲を選択します。

「カーソル選択」か「車番を直接入力」し、削除範囲を指定します。

「カーソル選択」では、［△］［▽］キーで、削除する先頭の車番にカーソルを移動し［設定完了］キーを押し、さらに削除する最後の車番までカーソルを移動し［設定完了］キーで削除範囲を選択します。

「はい」で入力した範囲の車番を削除します。

削除後、この画面の「削除開始位置指定」に戻ります。

「いいえ」でも同様です。

9-4-2 一括削除

車番登録されているデータを全て削除します。

【車番登録一括削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 「はい」で全ての車番登録データを削除します。
「いいえ」では「車番登録 削除方法選択画面」に戻ります。

１０ 項目名称登録

項目１、２、３、４に対し項目コードＮｏでその項目名称（最大１４文字）を登録するモードです。
登録件数は全使用項目合わせて最大４、０００件です。

【項目 画面】

（日付：時間）　メニュー～項目

1　項目閲覧
2　項目登録
3　項目印字
4　項目削除

▽△キーか数字入力で選択して下さい

← 全項目の名称登録数を表示します。

← 項目名称登録を閲覧します。
← 項目名称登録を行います。
← 項目名称登録の印字を行います。
← 項目名称登録の削除を行います。

［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

１０-１ 項目閲覧

登録された項目名称の閲覧を行います。

【項目閲覧 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 閲覧する項目を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「項目画面」に戻ります。

← 現在の登録件数を表示します。

← 項目コード番号を入力し検索することができます。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

１０-２ 項目登録

登録された項目名称の登録を行います。

【項目名称登録 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 登録する項目を（左右）キーで選択します。
← 登録する（されている）コード番号を入力します。
← 登録する（されている）名称を入力（表示）します。

登録（変更）を行う場合は、コード番号を入力後［設定完了］キーを押すと「名称入力画面」に切り換わります。

【項目名称登録 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 登録する項目を（左右）キーで選択します。
← 登録する（されている）コード番号を入力します。
← 登録する（されている）名称を入力（表示）します。

登録（変更）を行う場合は、コード番号を入力後［設定完了］キーを押すと「名称入力画面」に切り換わります。

番号（項目コード番号）を入力すると“名称”にカーソルが移動します。
すでに名称が登録されていると、その名称を表示し、登録の無い時はブランク表示します。
ここで、［設定完了］キーを押すと「名称入力画面」に移行します。

【名称入力 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 登録する項目番号を表示します。
← 登録する（されている）名称を表示します。

← 入力文字を表示します。
← 文字入力すると対応する漢字一覧表示に切り換わります。

名称入力後［設定完了］キーで入力名称が確定され、前の画面に戻り、登録を行います。
［ESC］キーでは、入力した名称はキャンセルされ、前の画面に戻ります。

名称登録での漢字入力方法は［１５ かな漢字変換］を参照してください。

１０-３ 項目印字

登録された項目名称の印字を行います。印字は、印字する項目の登録データを「一括」で印字するか「選択」されたデータのみ印字させることができます。

【項目名称印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字する項目を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「項目画面」に戻ります。

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字方法を選択します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

選択した印字画面に移行します。

１０-３-１ 選択印字

【選択印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字する範囲を選択します。
「カーソル選択」か「車番を直接入力」し、印字範囲を指定します。
「カーソル選択」では、［△］［▽］キーで、印字する先頭の車番にカーソルを移動し［設定完了］キーを押し、さらに印字する最後の車番までカーソルを移動し［設定完了］キーで印字範囲を選択します。

←「はい」で入力した範囲の車番登録データを印字します。
「いいえ」で選択した範囲をクリアし範囲選択に戻ります。

番号で印字範囲を指定する時には１０キーで番号を入力してください。

１０-３-２ 一括印字

登録されている項目に登録された名称を全て印字します。

【一括印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 「はい」で選択した項目に登録されている全ての名称を印字します。
「いいえ」で「項目名称印字画面」に戻ります。

１０-４ 項目削除

選択した項目の名称を削除します。削除には選択した項目の「一括削除」と「選択削除」があります。

【項目名称削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除する項目を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「項目画面」に戻ります。

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除方法を選択します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

選択した削除画面に移行します。

１０-４-１ 選択削除

【選択削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除する範囲を選択します。
「カーソル選択」か「番号を直接入力」し、削除範囲を指定します。
「カーソル選択」では、［△］［▽］キーで、削除する先頭の番号にカーソルを移動し［設定完了］キーを押し、さらに削除する最後の番号までカーソルを移動し［設定完了］キーで削除範囲を選択します。

←「はい」で入力した範囲の項目名称登録データを削除します。
「いいえ」で選択した範囲をクリアし、範囲選択に戻ります。

番号で削除範囲を指定する時には１０キーで番号を入力してください。

１０-４-２ 一括削除

登録されている項目に登録された名称を全て削除します。

【一括削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で一括削除します。
「いいえ」で「項目名称削除方法選択画面」に戻ります。

１１ 水分登録

水分補正で使用する水分率の登録を行います。
予め水分補正が未使用の設定の時には「メニュー」の画面に表示されません。

【水分 画面】

（日付：時間） メニュー～水分

１ 水分登録閲覧 ← 水分登録を閲覧します。
２ 水分登録 ← 水分登録を行います。
３ 水分登録印字 ← 水分登録の印字を行います。
４ 水分登録削除 ← 水分登録の削除を行います。

▽△キーか数字入力で選択して下さい

［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

１１-１ 水分登録閲覧

登録した「水分率」の一覧表示を行い、選択した水分登録データを表示し、登録データ内容を確認することができます。

【水分登録閲覧 画面】（車番・項目１・項目２・項目３・項目４で登録した場合）

（日付：時間） 水分～閲覧

登録数 １２３／１０００ ← 現在の登録件数を表示します。

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

閲覧する水分データを選択して下さい

登録されているデータを［△］［▽］キーで選択し［設定完了］キーを押すと、登録データを表示する画面に移行します。
登録データ表示画面からは［ESC］キーで「水分登録閲覧画面」に戻り ます。

［ESC］キーで一つ前の「水分画面」に戻ります。

閲覧画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

１１-２ 水分登録

予め設定されている項目（車番、項目１，２，３，４のいずれか１項目から最大５項目）に対し水分登録を行います。
すでに登録されている時には、その水分率を表示します。ここで、各項目、水分値を変更し登録すると、呼び出したデータの登録内容が変更されます。

【水分登録 画面】

```
（日付：時間）                              水分～登録
                          登録数　１２３／１０００
   車番　：　１２３４５６７８
   項目１：12345 あいうえおかきくけこさし
   項目２：　123 １２３４５６７８９０１２
   項目３：　100
   項目４：　200
   水分率：　　　　　　３．４％

                                  はい／いいえ
 登録してよろしいですか？
```

← 現在の登録件数を表示します。

予め設定された項目が表示されます。

← 登録する水分率を入力します。
← 入力後、登録する時には「はい」を選択し［設定完了］キーで登録します。
「いいえ」では登録せずに、入力値を全てクリアし最初の入力項目にカーソル表示となります。

［ESC］キーで一つ前の「水分画面」に戻ります。

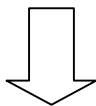
１１-３ 水分登録印字

水分登録の一覧印字を行います。

【水分登録印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字方法を選択します。

[ESC] キーで一つ前の「水分画面」に戻ります。

選択した印字画面に移行します。

【選択印字 画面】（車番・項目１・項目２・項目３・項目４で登録した場合）

（日付：時間）　　　水分～印字

登録数　１００／１０００

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

印字開始位置を指定して下さい

← 現在の登録件数を表示します。

← 予め設定された項目が表示されます。

← 登録項目を一覧表示します。

印字するデータを［△］［▽］キーで範囲選択し、選択した範囲を一覧印字します。カーソルを合わせ［設定完了］キーで選択します。

[ESC] キーで前の画面に戻ります。

印字選択画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

【一括印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で一括印字します。
「いいえ」で「水分画面」に戻ります。
[ESC] キーで前の画面に戻ります。

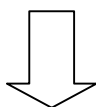
１１-４ 水分登録削除

水分登録データを削除します。

【水分登録削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除方法を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「水分画面」に戻ります。

選択した削除画面に移行します。

【選択削除 画面】

（日付：時間）　　水分～削除

登録件数　　１００／１０００

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

削除開始位置を指定して下さい

← 現在の登録件数を表示します。

← 予め設定された項目が表示されます。

← 登録項目を一覧表示します。

削除するデータを［△］［▽］キーで範囲選択し、選択した範囲を一覧印字します。カーソルを合わせ［設定完了］キーで選択します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

削除選択画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

【一括削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で一括削除します。
「いいえ」で「水分削除方法選択画面」に戻ります。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

１２ 比重登録

容積計算で使用する比重の登録を行います。

予め比重が未使用の設定の時には「メニュー」の画面に表示されません。

【比重 画面】

```
（日付：時間）                    メニュー～比重

    1  比重登録閲覧      ← 比重登録を閲覧します。
    2  比重登録          ← 比重登録を行います。
    3  比重登録印字      ← 比重登録の印字を行います。
    4  比重登録削除      ← 比重登録の削除を行います。

  ▽△キーか数字入力で選択して下さい
```

［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

１２-１ 比重登録閲覧

登録した「比重」の一覧表示を行い、選択した比重登録データを表示し、登録データ内容を確認することができます。

【比重登録閲覧 画面】（車番・項目１・項目２・項目３・項目４で登録した場合）

（日付：時間）　比重～閲覧

登録数　１２３／１０００　← 現在の登録件数を表示します。

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

閲覧する比重データを選択して下さい

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

登録されているデータを［△］［▽］キーで選択し［設定完了］キーを押すと、登録データを表示する画面に移行します。
登録データ表示画面からは［ESC］キーで「比重登録閲覧画面」に戻ります。

［ESC］キーで一つ前の「比重画面」に戻ります。

閲覧画面に入ると最初の登録データを表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

１２-２ 比重登録

比重登録の一覧印字を行います。

【比重登録 画面】

（日付：時間）　比重～登録

登録数　１２３／１０００　← 現在の登録件数を表示します。

車番　１２３４５６７８
項目１　12345 あいうえおかきくけこさし
項目２　123 １２３４５６７８９０１２
項目３　100
項目４　200
比重　１．０４ｔ／ｍ３

はい／いいえ

登録してよろしいですか？

予め設定された項目が表示されます。

← 登録する比重を入力します。単位は予め設定された単位で（ｋｇ／ｍ３、ｔ／ｍ３）の何れかになります。
← 入力後、登録する時には「はい」を選択し［設定完了］キーで登録します。
「いいえ」では登録せずに、入力値を全てクリアし最初の入力項目にカーソル表示となります。

［ESC］キーで一つ前の「比重画面」に戻ります。

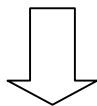
１２-３ 比重登録印字

比重登録の一覧印字を行います。

【比重登録印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字方法を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「比重画面」に戻ります。

選択した印字画面に移行します。

【選択印字 画面】（車番・項目１・項目２・項目３・項目４で登録した場合）

（日付：時間）　　比重〜印字

登録数　　１００／１０００

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

印字開始位置を指定して下さい

← 現在の登録件数を表示します。

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

印字するデータを［△］［▽］キーで範囲選択し、選択した範囲を一覧印字します。カーソルを合わせ［設定完了］キーで選択します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

印字選択画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

【一括印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で一括印字します。
「いいえ」で「比重画面」に戻ります。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

１２-４ 比重登録削除

比重登録データを削除します。

【比重登録削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除方法を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「比重画面」に戻ります。

選択した削除画面に移行します。

【選択削除 画面】

（日付：時間）　　比重～削除

登録数　１００／１０００

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

削除開始位置を指定して下さい

← 現在の登録件数を表示します。

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

削除するデータを［△］［▽］キーで範囲選択し、選択した範囲を一覧印字します。カーソルを合わせ［設定完了］キーで選択します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

削除選択画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

【一括削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 「はい」で一括削除します。
「いいえ」で「比重削除方法選択画面」に戻ります。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

１３ 単価登録

金額計算で使用する単価の登録を行います。
予め単価が未使用の設定の時には「メニュー」の画面に表示されません。
単価登録には「標準単価」と「重量単価」の２種類があります。
予めどちらを使用するかは内部設定されています。
ここでは、「標準単価」での操作方法で記載します。「重量単価」においても操作方法は同様となります。

【単価 画面】

（日付：時間） メニュー～単価

1 単価登録閲覧 ← 単価登録を閲覧します。
2 単価登録 ← 単価登録を行います。
3 単価登録印字 ← 単価登録の印字を行います。
4 単価登録削除 ← 単価登録の削除を行います。

▽△キーか数字入力で選択して下さい

［ESC］キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

１３-１ 単価登録閲覧

登録した「単価」の一覧表示を行い、選択した単価登録データを表示し、登録データ内容を確認することができます。

【単価登録閲覧 画面】（車番・項目１・項目２・項目３・項目４で登録した場合）

（日付：時間） 単価～閲覧

登録数 １２３／１０００ ← 現在の登録件数を表示します。

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

登録されているデータを［△］［▽］キーで選択し［設定完了］キーを押すと、登録データを表示する画面に移行します。
登録データ表示画面からは［ESC］キーで「単価登録閲覧画面」に戻ります。

閲覧する比重データを選択して下さい

［ESC］キーで一つ前の「単価画面」に戻ります。

閲覧画面に入ると最初の登録データを表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

１３-２ 単価登録

単価登録の一覧印字を行います。

【単価登録 画面】

```
（日付：時間）                         単価～登録
                          登録数 １２３／１０００
 車番       １２３４５６７８
 項目１  12345 あいうえおかきくけこさし
 項目２    123 １２３４５６７８９０１２
 項目３    100
 項目４    200
 単価                   １００円／ｋｇ

                              はい／いいえ

登録してよろしいですか？
```

← 現在の登録件数を表示します。

予め設定された項目が表示されます。

← 登録する単価を入力します。単位は予め設定された単位で（円／ｋｇ、円／ｔ）の何れかになります。

← 入力後、登録する時には「はい」を選択し［設定完了］キーで登録します。

「いいえ」では登録せずに、入力値を全てクリアし最初の入力項目にカーソル表示となります。

［ESC］キーで、一つ前の「単価画面」に戻ります。

１３-３ 単価登録印字

単価登録の一覧印字を行います。

【単価登録印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 印字方法を選択します。

[ESC］キーで一つ前の「単価画面」に戻ります。

選択した印字画面に移行します。

【選択印字 画面】(車番・項目１・項目２・項目３・項目４で登録した場合)

(日付：時間)　　　　　単価～印字

登録数　　　１００／１０００　← 現在の登録件数を表示します。

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

印字開始位置を指定して下さい

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

印字するデータを［△］［▽］キーで範囲選択し、選択した範囲を一覧印字します。カーソルを合わせ［設定完了］キーで選択します。

[ESC］キーで前の画面に戻ります。

印字選択画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

【一括印字 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

←「はい」で一括印字します。
「いいえ」で「単価画面」に戻ります。

[ESC］キーで前の画面に戻ります。

１３-４ 単価登録削除

単価登録データを削除します。

【単価登録削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 削除方法を選択します。

［ESC］キーで一つ前の「単価画面」に戻ります。

選択した削除画面に移行します。

【選択削除 画面】

（日付：時間）　　単価～削除

登録数　　１００／１０００

車番	項目１	項目２	項目３	項目４
1234	123	234	345	456
2000	200	300	400	500
3011	101	201	301	401
3123	221	331	441	551

＊
＊
＊

削除開始位置を指定して下さい

← 現在の登録件数を表示します。

← 予め設定された項目が表示されます。
← 登録項目を一覧表示します。

削除するデータを［△］［▽］キーで範囲選択し、選択した範囲を一覧印字します。カーソルを合わせ［設定完了］キーで選択します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

削除選択画面に入ると登録データの最初から一覧表示します。表示順は登録項目の順に並べた表示となります。

【一括削除 画面】

← 現在の登録件数を表示します。

← 「はい」で一括削除します。
「いいえ」で「単価削除方法選択画面」に戻ります。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

１３-５ 重量単価

内部設定にて予め「重量単価」を使用する設定の時に表示します。

正味重量の範囲で金額が変わる料金体系に対応した登録を行います。

【重量単価登録 画面】

```
（日付：時間）                                単価登録
                            登録数　１２３／１０００
  車番　　　：　１２３４５６７８
  項目１　　：12345 あいうえおかきくけこさし
  項目２　　：　123 １２３４５６７８９０１２
  項目３　　：　100
  項目４　　：　200
  基本重量：　　　　　　　　ｋｇ
  基本金額：　　　　　　　　円
  増加重量：　　　　　　　　ｋｇ
  増加金額：　　　　　　　　円

                          はい／いいえ
 車番を入力して下さい
```

← 現在の登録件数を表示します。

予め設定された項目が表示されます。

← 入力後、削除する時には「はい」を選択し［設定完了］キーで登録します。

［ESC］キーで一つ前の「単価画面」に戻ります。

基本重量	正味重量が基本重量以下の時には、金額は基本金額となります。
基本金額	正味重量が基本重量以下の時の金額を入力します。
増加重量	何 kg 毎に料金が変わるか、その重量を設定します。
増加金額	何 kg 毎にいくら料金が変わるかを単価として設定します。

１４ 保　守

日付、時刻の調整、機能設定、動作確認などを行います。

【保守 画面】

画面	説明
（日付：時間）　　　メニュー～保守	
１　日付と時刻の調整	← 日付と時間の設定を行います。
２　機能設定	← 単純計量、乗車音、ゼロクリア等を設定します。
３　動作確認	← 動作確認を行います。
４　メモリ件数	← データ件数の一覧表示を行います。
５　法定計量	← チェックサム、監査証跡の表示を行います。
▽△キーか数字入力で選択して下さい	[ESC] キーで一つ前の「メニュー」画面に戻ります。

１４-１ 日付と時刻の調整

【日付と時刻の調整　画面】

画面	説明
（日付：時間）　　　保守～日付時刻調整	
現在時刻　：西暦２００５年　４月　１日	← 日付を設定します。
金曜日	← 設定した日付の曜日を表示します。
８時４１分	← 現在の時間を設定します。時間は２４時間制で入力します。
	[ESC] キーで「保守画面」に戻ります。

１４-２ 機能設定

乗車音、ブザー音等の機能の設定を行います。

【機能設定　画面】

画面表示	説明
（日付：時間）　　　　メニュー～機能設定	
乗車音　　　　：未使用	← 乗車音の 未使用/3 秒/６秒/12 秒/操作 を設定します。
内蔵ブザー音量：レベル３	← 乗車音の音量設定を行います。（無し/レベル１/２/３/４/５）
RS232C　　　　：モード４	← 内部設定と同じＲＳ－２３２Ｃのモード設定を行います。
ゼロ補正クリア：行う	← ゼロ補正をクリアします。
パスワード使用：未使用	← ［ロック］キー使用時にパスワードを使用するかを設定します。
パスワード設定：１２３４	← パスワード使用する時に、パスワードを設定します。
プリンタ印字行数：135027 行	← 使用開始からのプリンタの印字行数
▽△キーか数字入力で選択して下さい	［ESC］キーで「保守画面」に戻ります。

項目	内容
乗車音	車両が乗車したことを検出すると内蔵ブザーが断続音で鳴る機能です。 “未使用/３秒/６秒/１２秒/操作”　のいずれかを設定します。 “３秒/６秒/１２秒”を設定すると、乗車を検出してから設定時間だけ内蔵ブザーが鳴ります。 “操作”に設定した時には、乗車を検出してから、何かキー操作されると内蔵ブザーがＯＦＦします。 ここでの音量は固定です。
内蔵ブザー音量	キーを押した時に鳴る内蔵ブザー音の音量を設定します。 未使用/レベル１/２/３/４/５の５段階で調整します。
ＲＳ２３２Ｃ	ＲＳ－２３２Ｃの機能を設定することができます。 未使用 モード１（ストリーム・モード） モード２（コマンド・モード） モード３（伝票発行毎にその内容を送信） モード４（受信コマンドに対応したデータの送受信）
ゼロ補正クリア	**注意：通常、ここでのクリアは行わないでください。** ［ゼロ］キー、電源立ち上げ時のゼロ補正機能により、ゼロ補正した重量値をクリアする機能です。「行う」にカーソルを移動し［設定完了］キーでクリアするモードに入ります。ゼロ補正クリアを行うと重量表示部が校正した時のゼロ点表示になります。ゼロ点を確認したら［ゼロ］キーにて必ずゼロ補正し、以降の計量を行ってください。
パスワード使用	［ロック］キーでロックを解除する時に、パスワードを使用するかしないかの設定をします。
パスワード設定	パスワード使用時に、入力するパスワードを４桁の数字で設定します。 ロックを解除する時に、ここで設定したパスワード入力でキーのロックを解除します。
プリンタ印字行数	使用開始からのプリンタの印字行数を表示します。

１４-３ 動作確認

【動作確認　画面】

（日付：時間）	メニュー～動作確認
1　VFD 表示	← 重量表示部（蛍光表示管）のチェックを行います。
2　キースイッチ	← キー入力読み込みのチェックを行います。
3　装着ボード確認	← 装着ボードの表示を行います。
4　コントロール入力	← ＡＤボードのコントロール入力のチェックを行います。
▽△キーか数字入力で選択して下さい	［ESC］キーで「保守画面」に戻ります。

「４　コントロール入力」はスロット１にＡＤ－４３５０－０９（カレントループ入力）が装着されている時には、「ＯＰ－０９（カレントループ入力）」の表示となり、現在受信しているデータの表示を行います。また「５　ロードセル入力」は表示されません。

● 装着ボードの確認

【装着ボード確認　画面】

（日付：時間）	装着ボード確認
スロット１：A/D（ロードセル入力）	← 装着されているボードの表示を行います。
スロット２：標準シリアルＩ/O	← ここでも装着ボードの表示のみです。
スロット３：　なし	← 装着されているオプションボードの表示を行います。
スロット４：　なし	ＡＤ－４３５０－０１　A/D（ロードセル入力）
スロット５：　なし	ＡＤ－４３５０－０２　ＯＰ－０２（セントロ出力）
スロット６：　なし	ＡＤ－４３５０－０４　ＯＰ－０４（ＲＳ－４２２/４８５）
	ＡＤ－４３５０－０７　ＯＰ－０７（リレー出力）
	ＡＤ－４３５０－０９　ＯＰ－０９（カレントループ入力）
▽△キーで選択して下さい	［ESC］キーで前の画面に戻ります。

「ＯＰ－０４　ＲＳ４２２/４８５」装着時

カーソルを「ＯＰ－０４　ＲＳ４２２/４８５」に合わせ［設定完了］キーを押すとチェックモードに入り、接続機器のプログラムバージョンを表示します。

機器番号（接続機種）に対しプログラムバージョンを問合せし、これを画面表示します。

但し、ＡＤ－４３８５が接続されている時には機能しません。

「ＯＰ－０９　カレントループ入力」装着時

カーソルを「ＯＰ－０９（カレントループ入力）」に合わせ［設定完了］キーを押すとチェックモードに入り、受信データを表示します。

上記以外のオプションでは、オプションボードの表示のみを行います。

●コントロール入力

ＡＤボードの入力（３点）の状態を表示するモードです。

【コントロールＩ/O　画面】

```
（日付：時間）　　　　　　　コントロールＩ／Ｏ

入力

　　［ＩＮ　1］［ＩＮ　2］［ＩＮ　3］
　　　●
```

← 入力がＯＮになると●を表示します。

［ESC］キーで前の画面に戻ります。

１４-４ メモリ件数

本機の登録データ件数を一覧表示します。

【メモリ件数　画面】

（日付：時間）　　　　　　　保守～メモリ件数

項目	件数	説明
滞留車データ	５００/　５００	← 滞留車データ件数を表示します。
計量データ	５００/　５００	← 計量データ件数を表示します。
日計元帳	１００００/１００００	← 日計元帳データ件数を表示します。
車番登録	４０００/　４０００	← 車番登録データ件数を表示します。
項目名称登録	４０００/　４０００	← 項目名称登録データ件数を表示します。
水分登録	１０００/　１０００	← 水分登録データ件数を表示します。
単価登録	１０００/　１０００	← 単価登録データ件数を表示します。
比重登録	１０００/　１０００	← 比重登録データ件数を表示します。

［ESC］キーで「保守画面」に戻ります。

・内部設定で未使用となっている項目については、表示しません。

１４-５ 法定計量

法定計量に関する表示を行います。

【法定計量　画面】

（日付：時間）　　　　　　　法定計量

１　チェックサム　　← 法定計量プログラム、データのチェックサムを表示します。

２　法定計量プログラムの変更履歴　　← 法定計量プログラムの変更履歴の一覧を表示します。

３　法定刑量データの変更履歴　　← 法定計量データの変更履歴の一覧を表示します。

▽△キーか数字入力で選択して下さい

［ESC］キーで「保守画面」に戻ります。

１５ かな漢字変換

かな漢字入力、文字入力の方法です。

ここでの漢字入力方法は、「メニュー」の「項目名称登録」での項目登録を例に説明します。

１５-１ 文字入力

ここでは、項目名称登録画面を基に、文字入力方法について記載します。

● 入力文字の選択方法

【項目名称入力　画面】

```
(日付：時間)                    項目～登録
 項目１：１２３
 名称　：

 未確定：■
 リスト：
                                      かな
```

＊１）現在の入力文字をここに表示します。

← ［かな/カナ］［英/英小］キーで選択した入力文字種類を表示します。
最初は［かな］の文字入力になっています。

＊１）［かな/カナ］キーでは、かな入力、カタカナ入力に設定できます。キーを押す毎に「かな」⇔「カナ」と切り換わり表示されます。

［英/英小］キーでは、アルファベットの大文字/小文字の入力に設定します。

キー		説明
か ABC	⇒	「かな」入力の時：押すごとに「か・き・く・け・こ」が入力されます。 「カナ」入力の時：押すごとに「カ・キ・ク・ケ・コ」が入力されます。 「英大」入力の時：押すごとに「Ａ・Ｂ・Ｃ」が入力されます。 「英小」入力の時：押すごとに「ａ・ｂ・ｃ」が入力されます。
゛゜	⇒	濁音「だ」や「ぱ」の入力時に使用します。
(－/	⇒	（）　／　－　等の記号の入力専用キーです。 ［かな/カナ］［英/英小］に関係なく記号の入力ができます。
無変換	⇒	入力文字を漢字に変換せずにそのまま設定する時にこのキーを押します。「あさ」と入力すると漢字リストを表示しますが［無変換］キーを押すと「あさ」と入力したひらがなをそのまま設定できます。
C	⇒	“名称”表示部の文字列を１ずつ削除します。左右キーでカーソルを移動し、削除する文字の右側にカーソルを合わせ［Ｃ］キーを押すと１文字削除されます。
◁	⇒	未確定表示部に入力された文字を１文字ずつ削除します。

１５-２ 項目名称登録

ここでは例として、項目１のコード番号１２３に“春１２－C”と入力する手順を示します。

（１）登録する「項目」と「番号（項目コード番号)」を入力します。

【項目名称登録　画面】（１）

① 登録する“項目”を左右キーにて選択します。
② 番号（項目コード番号）を入力します。
③ 登録されている名称を表示します。登録の無い時はブランクです。

「名称」にカーソル表示で［設定完了］キーを押すと名称入力モードに切り換わります。

(２)項目の名称を入力します。

“春”の読みを入力しますので、最初は“は”を入力します。

【名称入力　画面】（２）

← 項目、コード番号を表示。

④ 読みがなを入力します。左は「は」と入力した時です。
　リストには入力毎に、漢字変換した文字を表示しますので、
　この中から数字もしくは、▼▲キーで選択します。
　選択すると確定し名称の欄に入力されます。

【名称入力　画面】（３）

⑤　次の読みがな“る”を入力します。すると“はる”に対する文字をリスト表示します。
“春”を選択します。
数字の１もしくは、▼キーで 1:春にカーソルを移動し［設定完了］キーを押し選択します。

【名称入力　画面】（４）

（日付：時間）　　　　　　　　項目～登録
項目１：１２３
名称　：［春＿　　　　　　　　］

未確定：

かな

←　“春”が選択され名称の欄に入力されます。

３）次に“１２”を入力します。

【名称入力　画面】（５）

（日付：時間）　　　　　　　　項目～登録
項目１：１２３
名称　：［春１　　　　　　　　］

未確定：

かな

⑥　１０キーで［1］を入力します。
名称表示部に“１”が表示され“春１”と表示します。

名称入力を誤った時には左キーを押すと、１文字削除します。
未確定表示部の入力に誤りがあった時には、左キーでクリアします。

⑦　同様に１０キーで［2］を入力し“春１２”と名称表示部に表示されます。

４）次に“ー”を入力します。

［( ) ー/］（記号入力）キーを押すと入力できる記号をリスト表示します。

【名称入力　画面】（５）

⑧　［() ー／］入力キーを３回押し、“ー”を選択し［設定完了］キーを押します。

以上で“春１２ー”と入力されました。

５）次に“C”を入力します。

【名称入力　画面】（６）

⑨　［英/英小］キーを押し、「英大」入力表示にします。

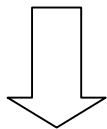
⑩　［か/ＡＢＣ］キーを３回押すと、“A→B→C”と切り換わりますので、“C”が表示されたら［無変換］キーを押します。
これで“C”が入力されます。

以上で、“春１２ーC”と入力できました。

【名称入力　画面】（７）

（日付：時間）　　　　　　　　項目～登録
項目１～１２３
名称　：［春１２ーC＿　　　　　　　］

未確定：

英 大

“春１２－Ｃ”が入力できましたので、登録する名称の入力が終了したら、[設定完了]キーを押します。
元の登録画面に戻ります。

【項目名称登録　画面】

```
（日付：時間）                    項目～登録
                    登録数　　１００／４０００

  項目：項目１
  番号：１２３
  名称：春１２－Ｃ

                        はい／いいえ

登録しますか？
```

← 入力した名称を表示します。

⑪ ［設定完了］キーで入力した名称を登録するか聞いてきます。
「はい」を選択で、登録します。
「いいえ」では項目の選択に戻ります。
（いいえでは、“項目、番号、名称”はクリアします。）

［ESC］キーでは登録画面を抜け、一つ前の画面に戻ります。

１６ 印字例

１６-１ カード式　プリンタ印字例

ＡＤ－４３５０Ａ（カード式プリンタ）標準書式印字例（２回計量）です。
プリンタ仕様詳細はＡＤ－４３５０Ａ（カード式プリンタ）取扱説明書を参照してください。

注意：“Ｇ”は総重量（Gross)、“Ｔ”は風袋引（Tare)、“Ｃ”は計算値（Calculation)を示します。
１回計量の場合は、“Ｔ”の代わりに固定風袋引として“ＰＴ”(Preset Tare)を、“Ｃ”の代わりに正味重量として“Ｎ”(Net)と印字します。

１６-２ 発行式プリンタ印字例

ＡＤ－４３５０Ｂ（発行式プリンタ）標準書式印字例（２回計量）です。

プリンタ仕様詳細はＡＤ－４３５０Ｂ（発行式プリンタ）取扱説明書を参照してください。

周辺機器カードリーダーも同じ印字フォーマットとなります。

注意：“Ｇ”は総重量（Gross)、“Ｔ”は風袋引（Tare)、“Ｃ”は計算値（Calculation)を示します。
１回計量の場合は、“Ｔ”の代わりに固定風袋引として“ＰＴ”(Preset Tare)を、“Ｃ”の代わりに正味重量として“Ｎ”(Net)と印字します。

１６-３ 集計印字例

伝票プリンタにおいての集計印字例です。

１６-３-１ カード式伝票プリンタ（ＡＤ－４３５０Ａ）

日計元帳

```
 日計元帳　　　　２００５．　４．１０
計量日　０４．　４．１０　伝票番号１２３４
車番　　Ａ１２３４５６７
項目１　１２３４５　　項目２　１２３４５
項目３　　　１２３　　項目４　　　２００
総重量　１０：１０　　　１２３４５６７ｋｇ
空　車　１０：３０　　　　　２０００ｋｇ
正　味　　　　　　　　　１２３２５６７ｋｇ

計量日　０４．　１．１０　伝票番号１２３４
車番　　Ａ１２３４５６７
項目１　１２３４５　　項目２　１２３４５
項目３　　　１２３　　項目４　　　２００
```

車番別集計

```
 車番　別集計　　　２００５．　４．１０
集計日付範囲　０５．　４．　１　から
　　　　　　　０５．　４．１０
車番　１２３４５６７８
 １２３４５６回　１２３４５６７８９０ｋｇ
車番　１３３４
　　　１２３回　　　　　　７８９０ｋｇ
車番　２０００
　　　　５６回　　　　５６７８９０ｋｇ
車番　４５６７
　　　　４５回　　　　　　４５６０ｋｇ
車番　Ａ１２３４５６７
　　　２３６回　　　　　１７８９０ｋｇ
```

車番別項目１

```
車番　　別　　　　２００５．　４．１０
項目１
集計日付範囲　０５．　４．　１　から
　　　　　　　０５．　４．１０
車番　１０００
項目１　　　１２　あいうえお可記区家庫さしすせ
 １２３４５６回　１２３４５６７８９０ｋｇ
車番　１２３４５６７８
項目１　　　１２　砂誌素世素
　　　１２３回　　　　　　７８９０ｋｇ
```

項目１別項目２別項目３集計

```
項目１　別　　　　　２００５．　４．１０
項目２　別
項目３
集計日付範囲　０５．　４．　１　から
　　　　　　　０５．　４．１０
項目１　　　　１　Ａ１２３４５６７８９０１２３
項目２　　　１２　あいうえお可記区家庫さしすせ
項目３　１２３４５　ＡＢＣＤＥＦＧ
 １２３４５６回　１２３４５６７８９０ｋｇ
項目１　　　１１　Ｂ１２３４
項目２　　　１２　砂誌素世素
項目３　１２３４５　ＡＳＫＬＷＯ
　　　１３２回　　　　　　７８９０ｋｇ
```

１６-３-２ 発行式伝票プリンタ（ＡＤ－４３５０Ｂ）

日計元帳

日計元帳　　　　　　２００５．　４．１０
計量日　０４．　４．１０　伝票番号１２３４
車番　　Ａ１２３４５６７
項目１　１２３４５　　項目２　１２３４５
項目３　　　１２３　　項目４　　　２００
総重量　１０：１０　　　１２３４５６７ｋｇ
空　車　１０：３０　　　　　２０００ｋｇ
正　味　　　　　　　　　１２３２５６７ｋｇ

計量日　０４．　１．１０　伝票番号１２３４
車番　　Ａ１２３４５６７
項目１　１２３４５　　項目２　１２３４５
項目３　　　１２３　　項目４　　　２００
総重量　１０：１０　　　１２３４５６７ｋｇ

車番別集計

車番　別集計　　　２００５．　４．１０
集計日付範囲　０５．　４．　１　から
　　　　　　　０５．　４．１０
車番　１２３４５６７８
　１２３４５６回　１２３４５６７８９０ｋｇ
車番　１３３４
　　　１２３回　　　　　　７８９０ｋｇ
車番　２０００
　　　　５６回　　　　　５６７８９０ｋｇ
車番　４５６７
　　　　４５回　　　　　　４５６０ｋｇ
車番　Ａ１２３４５６７
　　　２３６回　　　　　１７８９０ｋｇ

車番別項目１

車番　　別　　　　２００５．　４．１０
項目１
集計日付範囲　０５．　４．　１　から
　　　　　　　０５．　４．１０
車番　１０００
項目１　　　１２　あいうえお可記区家庫さしすせ
　１２３４５６回　１２３４５６７８９０ｋｇ
車番　１２３４５６７８
項目１　　　１２　砂誌素世素
　　　１２３回　　　　　　７８９０ｋｇ

項目１別項目２別項目３集計

項目１　別　　　　２００５．　４．１０
項目２　別
項目３
集計日付範囲　０５．　４．　１　から
　　　　　　　０５．　４．１０
項目１　　　　１　Ａ１２３４５６７８９０１２３
項目２　　　　１２　あいうえお可記区家庫さしすせ
項目３　１２３４５　ＡＢＣＤＥＦＧ
　１２３４５６回　１２３４５６７８９０ｋｇ
項目１　　　　１１　Ｂ１２３４
項目２　　　　１２　砂誌素世素
項目３　１２３４５　ＡＳＫＬＷＯ
　　　１３２回　　　　　　７８９０ｋｇ

１６-３-３ 集計用プリンタ

ＡＤ－４３５０－０２（セントロニクスインターフェイス）で接続する外部集計用ドットマトリクスプリンタの集計印字例です。

推奨プリンタ　（ＥＰＳＯＮ　ＶＰ－１２００）

●日計元帳

日計元帳一覧 ２００５．４．　１　データ範囲　２００５．　３．１　から　２００５．　３．３０まで

伝票番号	車番	項目１	項目２	項目３	項目４		総重量ｋｇ		空車重量ｋｇ	正味重量ｋｇ
1	1000	1	2	3	4	10:12	12520		9870	2650
1000	A1234567	123	200	300	400	10.35	10220	11:10	8900	1320
1001	B1234567	100	12	300	200	10:11	15220	11:20	12900	2320
1002	C1000	202	220	223	300	10:22	15220	11:30	10900	4320
1003	D2345	11	22	100	101	10:33	14220	11:40	11900	2320
1004	D5678	110	200	200	400	10:44	15220	11:50	10900	4320

● 車番別集計

車番　集計２００５．４．　１　データ範囲　２００５．　３．１　から　２００５．　３．３０まで

車番	回数	正味ｋｇ
1000	123	20500
A1234567	3	200
B1234567	100	52000
C1000	22	2200
D2345	11	1030
D5678	110	20240
合計	369	96170

● 項目１別項目２集計

２００５．４．　１　データ範囲　２００５．　３．１　から　２００５．　３．３０まで

項目１　別項目２　集計

項目１	項目２	回数	正味ｋｇ
1アイウエオカキクケコサシスセ	1ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮ	123	20500
1アイウエオ	10ＡＢＣＤＥＦＧ	3	200
1カキクケコ	11ＨＩＪＫＬＭＮ	33	3200
項目１の小計			
		159	23900
12ＡＢ３４５６７８９０１２３４	2ＨＩＪＫＬＭＮ	100	52000
12ＢＣ２３４５６	3ＯＰＱＲＳＴＵ	22	2200
項目１の小計			
		122	54200
合計			
		281	78100

１７ 発行式プリンタ給紙方法

ＡＤ－４３５０Ｂ（発行式プリンタ）は、以下の手順で給紙してください。

①プリンタの電源をＯＦＦにします。
②上カバーを外します。
③用紙を用紙フォルダにセットし、１枚目を用紙ガイドに挿入します。
④用紙の左右の穴がプリンタ用紙ガイドのスプロケットのピンで確実に噛むようにしながら給紙用ノブを手で回していきます。
⑤用紙を奥まで入れます。
⑥上カバーを取り付けます。
⑦給紙用ノブで用紙先端をペーパーカッターに合わせます。
⑧電源を入れます。電源を入れると用紙を数ミリ巻き込んだ後、元の位置に自動的に戻します。

注意：上カバーの取り外し、給紙用ノブの操作は必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

１８ パンチカード

周辺機器ＡＤ－４３８５（パンチカードリーダープリンタ）で使用するパンチカードは、１８桁フォーマットとなります。（旧１０桁フォーマットは未対応です）

各データ位置と桁数は固定です。

車番は「文字」として読み込みます。“１２３４５６”とパンチすれば、数値ではなく「１」「２」「３」「４」「５」「６」の６文字として読み込みます。

ここで“０００１２３”とパンチした時には、

「０」「０」「０」「１」「２」「３」の６文字として読み込みます。

１回計量用に車番登録する時には、車番を“０００１２３”と入力し登録してください。（車番６桁全てを入力します。）

パンチされていないところは“０”として読み込みます。

●データの優先順位

カードリーダを使用した場合のデータの優先順位は

１． 周辺機器側の設定ユニットで入力したデータ

２． カードデータ

３． 車番登録に登録されているデータ

例えば、車番登録に項目コードが登録されていても読み込んだカードデータに同じ項目のデータが存在した時には、カードデータを優先し読み込みます。

１９　外形寸法図

単位：ｍｍ

製品の技術問い合わせ・修理の受付窓口

受付時間　9:00～12:00、13:00～18:00（日・祝日、年末年始、弊社休業日を除く）

開発・技術センター

技術問い合わせ	TEL. 048-593-1743（直）	FAX. 048-593-1483
修理の受付	TEL. 048-593-1459（直）	FAX. 048-593-1483
ＦＥ部	〒364-8585 埼玉県北本市朝日１－２４３	（受付時間 17:30迄）

名古屋営業所	TEL. 052-701-5681（代）	FAX. 052-701-5683
ＦＥ課	〒465-0044　名古屋市名東区小井掘町４０２	
大阪営業所	TEL. 06-4805-1208（直）	FAX. 06-4805-1201
ＦＥ課	〒532-0011　大阪市淀川区西中島６－１－３	
広島営業所	TEL. 082-233-0611（代）	FAX. 082-233-7058
ＦＥ課	〒733-0037　広島市西区西観音町９－７	
福岡営業所	TEL. 092-441-6715（代）	FAX. 092-411-2815
ＦＥ課	〒812-0013　福岡市博多区博多駅東３－５－８	

校正・点検・修理に関するお問い合わせ窓口

受付時間　9:00～12:00、13:00～17:00（日・祝日、年末年始、弊社休業日を除く）

はかり・天びん相談センター	電子天びん・台はかりに関するお問い合わせ	0120-514-019
健康機器相談センター	ホームヘルスケア製品に関するお問い合わせ（家庭向血圧計、体重計、吸入器）	0120-514-016
ＭＥ機器相談センター	メディカル製品に関するお問い合わせ（医療用血圧計、ＭＥ計量器など）	0120-707-188

A&D 株式会社 エー・アンド・デイ

本社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋３－２３－１４ ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

計量器・天びん・計測器・試験機	TEL. 03-5391-6126（直）	FAX. 03-5391-6129
メディカル製品・ホームヘルスケア	TEL. 03-5391-6127（直）	FAX. 03-5391-6129
札幌出張所	TEL. 011-251-2753（代）	FAX. 011-251-2759
仙台出張所	TEL. 022-211-8051（代）	FAX. 022-211-8052
東京北営業所	TEL. 048-592-3111（代）	FAX. 048-592-3117
東京南営業所	TEL. 045-476-5231（代）	FAX. 045-476-5232
静岡出張所	TEL. 054-286-2880（代）	FAX. 054-286-2955
名古屋営業所	TEL. 052-701-5681（代）	FAX. 052-701-5683
大阪営業所	TEL. 06-4805-1200（代）	FAX. 06-4805-1201
広島営業所	TEL. 082-233-0611（代）	FAX. 082-233-7058
福岡営業所	TEL. 092-441-6715（代）	FAX. 092-411-2815

※ 電話番号、ファクシミリ番号は、２００９年０６月０５日現在です。
※ 電話番号、ファクシミリ番号は、予告なく変更される場合があります。
※ 電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いします。